




論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 長岡良礼
論文審査委員	主査 山崎純 
	副査 梅津桂子 
	副査 稲井哲一朗 
論文題目	Mevalonates restore zoledronic acid-induced osteoclastogenesis inhibition
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>本学位申請論文は、窒素含有ビスホスホネート製剤のゾレドロン酸による培養破骨細胞の融合と多核化の抑制、さらに LPS 投与下でマウス抜歯窩に於いて顎骨壊死 (BRONJ) 様の壊死を惹起することを明らかにした。メバロン酸代謝経路の代謝物のゲラニルゲラニル酸とゲラニルゲラニルピロリン酸が、ゾレドロン酸による上述の作用からの回復を促したことは、メバロン酸代謝経路との関連と BRONJ の予防・治療方法としての可能性を示唆するものであった。</p> <p>研究目的、方法や結果が明瞭に提示され、論旨に一貫性があり、従来 of 知見との関連性も的確であった。特に、BRONJ 発症モデルマウスの作成と μCT を用いた抜歯窩骨密度の解析は、BRONJ 治療法の開発に際しての有用な実験手法になると思われた。本研究は BRONJ による顎骨壊死の病態機序を解明する上での重要な知見であり、今後の更なる展開が予期される意義ある業績であった。また、予備審査公開発表会における申請者の発表内容と質疑応答は、広範な知識に基づいておりの確になされていた。</p> <p>以上、予備審査ならびに本審査にて詳細な審査を行なった結果、博士 (歯学) の学位申請論文として価値有る業績と認めたので審査結果を合格とした。</p>	